

知られざる図書館の仕事

燻蒸

博物館や、文書館、図書館では、保存している貴重な資料の劣化が進まないよう、様々な手段を講じています。そのひとつに資料についた虫やカビを駆除する「燻蒸(くんじょう)」という作業があります。

県立図書館では2ヶ月に1回、貴重資料の燻蒸を行っています。

事前に選定した本をコンテナに詰めます。



窯入れ



厳重にドアを閉めて。



ここからは専門業者さんのお仕事です。

釜の密閉→ガス投薬→燻蒸→ガス回収→安全確認

そして一週間後...

釜から本を取り出し、きれいにしして棚に戻します。



担当者より

きれいになった資料が利用されると同時に、貴重な財産としてずっと活かし続けられる…。作業をしながらそんなことを考えています。50年後、100年後、もっと先まで皆さんにこれらの資料が利用されると思うと責任は重大です。地味ですが、なくてはならない作業です。